

令和8年度 第1回伊勢原市地域公共交通協議会 会議録

〔事務局〕 都市政策課

〔開催日時〕 令和8年7月24日(金) 午後2時00分から午後3時00分まで

〔開催場所〕 伊勢原市役所3階 全員協議会室

〔出席者〕

(委員) 藤井会長、大島副会長、橋山委員、薄井委員、宮原委員、
大越委員、吉野委員(代理出席)海野委員、宇佐美委員、
佐伯委員、福永委員、市川委員(代理出席)、春原委員、
藤本委員(代理出席)、河津委員(代理出席)、石井委員、菊本委員
(欠席：小堤委員、永山委員、渡辺委員、)

(事務局) 大園都市政策課長、高橋公共交通対策係長、ほか2名

〔公開の可否〕 公開

〔傍聴者〕 0名

《審議の経過》

1 開 会

2 委 嘱

3 あいさつ

4 議 事

議案第1号 令和8年度事業計画(案)について

5 その他

6 閉 会

《議事》

会	長	それでは、次第に従い、議事を進めます。 本日の議題は、 第1号議案 令和8年度事業計画（案）について の1点となっています。 事務局から内容の説明を行い、その後、委員の皆様の御意見等をお聴きしていきたいと存じますのでよろしくお願いします。 それでは、議案第1号 令和8年度事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。
事務局		【説明】
会	長	ありがとうございました。 令和8年度事業計画（案）について、8つの施策について、新規事業・継続事業という形で事業計画の説明をいただきました。 委員の皆様から、御質問、御意見等ありましたらお願いします。
委	員	議題資料3ページの目標値について、すでに現況値が目標値を上回っている項目があるが、これらの項目は令和9年度までに値が減少してもいいという考えなのでしょうか。
事務局		目標値については、計画の策定作業を行っていた令和4年度がコロナ禍であり、公共交通利用者が大幅に減少し、将来の見通しが不透明であったこと、また、交通事業者へのヒアリングでコロナ禍前の利用者数の80%～85%までしか回復しないだろうと回答があったことから、コロナ禍前の数値に約80%を乗じた数値設定を行いました。 現況値がすでに目標値を上回っている項目については、近年の利用促進の取組も生きているところだと感じており、引き続き実施していくと同時に、目標値に達していない項目については目標達成に向けて継続して努力していきます。
会	長	目標値に達していない項目は、目標値に向かうように継続して努力をしていくとともに、福祉タクシーの導入台数等のすでに目標値を超えている項目については、目標値を超えてもプラスアルファとして取組を進めていくという考えでいいでしょうか。
事務局		そのとおりです。
委	員	互助輸送の実証実験において、運転手は地域のボランティアにお願いするということですが、免許の種別等どのような方が運転手となるのでしょうか。 また、運行団体を設立予定ということですが、具体的にどのような団体になるのでしょうか。
事務局		運転手については、現在、自治会のボランティアを中心に探しています。

	また、南部地域包括支援センターにおいても何名かお声がけしていただいております。最低でも2～3名程度は確保して事業に進みたいと考えています。免許については、普通免許所有者であれば運転手として従事いただけますが、安全確保の観点から、運転手には大臣認定の安全運転講習を受講していただく予定です。 運行団体については、自治会員や運転手等で団体を設立していただき、構成員から会費を徴収することで、その会費を燃料費や保険料等の諸経費に充てていくことを想定しています。正式にはまだ決まっていないことから、引き続き協議していきます。
委 員	運転手は人の命を預かるため、運転手に応募された方の過去の事故歴や健康状態等をしっかりと確認する必要があると思います。
事 務 局	御指摘のとおり、事務局において、運転手とは個別に面談をさせていただいて、諸条件をクリアできているかの確認を行う予定です。
会 長	互助輸送は公共ライドシェア等とは異なり、ボランティア組織として運賃を徴収せずに運行していく仕組みになります。実際にこれまでも各地で互助輸送に取り組まれているものですが、やはり安全面に関して、公共ライドシェア等で課されている安全運転講習の受講・運転手の健康管理・アルコールチェック等について、運行団体で確実に実施していただけるような組織化までは、事務局がフォローアップする形で実証実験を行っていき、その中で、互助として継続していくのかどうかを検討していくといった過程なのかと思います。 公共交通空白地区対策は、国・県の予算を活用することで、令和7年度から9年度の三年間の中で様々動いていますが、伊勢原市は都市として非常にコンパクトなまちであり、空白地区がまとまっておらず小さい単位で点在していることから、地域の方たちの要望が異なっており、対策を行うのが非常に難しくなっています。 その中で互助が機能する地域なのか、公共ライドシェア等の仕組みが必要になるのかを検証するモデルケースの一つとして今回実証実験を行うといった位置づけであろうことから、丁寧に事業を実施してほしいと思います。
委 員	公共交通空白地区等の移動環境支援の検討について、今年度検討していくところだと思いますが、導入に向かったのスケジュール感について、現状で決まっていることがあれば教えてください。
事 務 局	議案の説明と重複しますが、現在12地区の公共交通空白地区等の実態調査を進めています。その中で、地区間の優先順位を考慮しながら来年度以降の実証実験に向けた取組を進めていく考えとしております。
会 長	伊勢原市内の公共交通空白地区等については、非常に点在しています。その中で公共交通空白地区等の中で移動支援が必要な地域があるのかどう

	か、ある場合にはどのような支援が適しているのかの調査・データベース化を進めているというところです。 結果としては、極端な話だと12地区それぞれで12とおりのモデルケースが出てくるかもしれません。そのような、モデルケース等について丁寧に対策を展開していきたいということが事務局の考えなのかと思います。
事務局	まさしく、そのとおりです。昨年度まで公共交通空白地区等の各自治会と対話をしており、その中では、元々空白地区だったため現状でも特に困っていないという意見もありましたので、地元の意向等も踏まえながらどういう順番でやっていくか、どのような対策が必要かを検討していきたいと考えています。
会長	その他、特によろしいでしょうか。 それでは、第1号議案について、議題のとおり承認することによろしいでしょうか。
【承認】	
会長	その他、御意見等がありますか。 では、議題について終了します。 次に、次第の5 その他について、何かありますか。
委員	市内のバス路線について御報告です。 伊勢原駅～七沢系統路線の今後の路線のあり方について、伊勢原市・厚木市と協議を進めています。協議等が進みましたら、再度本協議会において御報告させていただきます。
事務局	七沢路線については、市北部の西富岡地区と伊勢原駅を結ぶ路線であり、朝夕の通勤時間帯等に一定の利用があることから、神奈川中央交通様には路線を引き続き維持していただきたいものと考えてはおりますが、市でも何かしらの対応を検討しているところです。 七沢路線が運行している西富岡地区は、公共交通不便地区に該当していることから、今年度の新規事業である公共交通空白地区等の移動環境支援の検討の中で対応について検討していきたいと考えています。
会長	御質問等ありますか。 今後も継続して協議していくという内容でした。 その他、よろしいでしょうか。
事務局	二点、御報告です。 一点目が、伊勢原市地域公共交通計画についてです。本計画の計画期間が令和9年度までということで、来年度改定作業を行います。そのため、来年度の公共交通協議会については3回の開催を予定しておりますので御理解・御協力のほどお願いいたします。 二点目が、次回の会議日程です。第二回目は来年の二月ごろを予定して

		います。開催時期が近づきましたら、開催通知を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。
会	長	来年度に向けての報告でした。 その他、よろしいでしょうか。 それでは、進行を事務局へお返ししたいと思います。皆様の御協力で議事進行を円滑に進めることができました。ありがとうございました。
閉	会	